



3月15日(日)、下甌島内7地区のコミュニティ協議会が、不法投棄された空き缶・瓶・ゴミ類の除去作業を実施。これは不法投棄ゼロの島を目指すもので、地域住民、PTA健児団、老人クラブなど113人が参加。ゴミの多さに驚きながらも、懸命に拾い集め、不法投棄の撲滅を訴えました。



許せない！不法投棄
やめよう！心無い行為



2月25日(水)、樋脇保健センターで、「私たちの今を知り賢く生きよう」をテーマに、樋脇女性大会が開催されました。地区内の各女性団体による活動発表や薩摩川内警察署による振り込め詐欺の寸劇があり、参加者らは、各団体の取り組み内容や詐欺対策についての理解を深めていました。



樋脇
食生活の改善や環境対策など
地域のために頑張る女性団体

皆さんからの「まちの話題」を募集しています。

あなたの身の回りであったイベントや季節に応じた風景など、あなたの身近な「まちの話題」を募集しています。デジタルカメラまたはフィルムカメラで撮った写真とそれに関する120文字程度の説明文を付けてください。
*人物が写っている場合は、必ず本人の了承をもらい投稿してください。

【投稿先】
■送付の場合
〒895-8650 広報室 まちの話題係
■電子メールの場合
koho@city.satsumasendai.lg.jp
*必ず、住所・氏名(ふりがな)・連絡先をお知らせください。
*紙面の都合上、掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。



3月5日(木)・6日(金)、市内スーパーで、育英・高江保育園児による「防火の呼び掛け」がありました。英語で「火の用心」を意味する「PREVENT FIRES」と書かれたうちわを手手に火災予防を呼び掛け、防火の心構えと一緒に英語の楽しさも学びました。



川内
火の用心！
英語で元氣よく



3月、東郷中央分団車庫のシャッターをキャンパスに見立てて描いた東郷文弥節人形浄瑠璃の絵が完成しました。これは東郷中学校3年生が、美術の授業の一環で半年かけて描いたもの。色鮮やかな絵が道行く人々の目を楽しませてくれます。



東郷
卒業記念に地元へのプレゼント
シャッターに人形浄瑠璃を描きました



3月15日(日)、川内川堤防などをコースに、川内川河口マラソン・ウォーキング大会があり、市内外から1,132人が参加。家族連れでの参加者も多く、春の暖かい日差しの中、マラソンやウォーキングで気持ちのいい汗を流していました。



川内
陽気な春の日差しを浴びて
ぽかぽかマラソン・ウォーキング



2月24日(火)、樋脇公民館で、料理教室がありました。参加者らは、国際交流員の王鶴凌さんに習いながら、皮から作る本格的なギョーザに挑戦。柔らかい皮に苦戦しましたが、出来上がった水ギョーザと焼きギョーザで本場の味を楽しみました。



樋脇
本場中国料理に挑戦！
国際交流員とギョーザ作り



3月1日(日)、鹿島地区で、つばきマラソンがありました。絶好の天候に恵まれ、1kmのウォーキングコース、1・3・5kmのマラソンコースに、乳幼児から高齢者まで約250人が参加。沿道にツバキが咲き誇るコースを、楽しみながら完走・歩きました。



鹿島
ツバキ満開 春風受けて
気分爽快(そっかい)！

3月18日(水)、甌島振興協議会によるキビナゴ料理講習会が開催されました。

同協議会では、市民の魚料理に対する感心を深めるため、地産地消の一環として、お魚料理コンクールを実施。その成果として、キビナゴ料理を中心としたレシピ集を作成しています。

今回は、このレシピ集を活用し、市民の魚離れの解消と魚の消費拡大のため、川内2会場、樋脇・入来・東郷・祁答院・下甌・鹿島会場の8会場で一斉に開催されました(里・上甌は先に実施済み)。参加者は8会場で約160人あり、食生活改善推進員の指導の下、ポテサラキビフライなどのキビナゴ料理に挑戦。「新鮮なキビナゴは生臭くない」などの意見が聞かれました。

同協議会では、今後も、レシピ集を活用し、親子によるキビナゴ料理講習会なども開催する予定です。



▲ポテサラキビフライ：コロケ風のキビナゴ料理で魚と野菜と一緒に食べることができます。



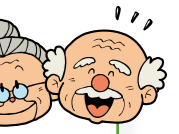
▲きび手まり：キビナゴの色がきれいで、見た目もよく、さっぱりした味わいです。



甌のキビナゴ料理に挑戦！新鮮なキビナゴをおいしく食べよう



2月27日(金)、上甌老人福祉センターで、上甌町・里町の老人クラブ合同の交流研修会がありました。振り込め詐欺対策や定期検診の大切さなどが講話や寸劇で説明され、笑いを誘う場面では、参加者らは時折笑みを浮かべ、熱心に聞き入っていました。



みんなで築こう活力ある長寿社会
健康づくりは自分たちの手で